



FURUKAWA GROUP

company profile

株式会社古川製作所

株式会社エクス

株式会社ハイバック

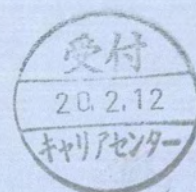
株式会社キャップ

株式会社シンワ機械

株式会社フルカワサービス

上海神和機械有限公司

OLD RIVERS (THAILAND) CO., LTD



たった のコンセプト

「人を幸せにすれば、自らもおのずと幸福になれる」

フルカワグループの創業者、古川喬雄が持ち続けたひとつの想い。
現在でも当社は、その想いを受け継ぐことを企業理念として掲げています。
私たちのすべての事業活動の根底には、
決して揺るぎないものが息づいているのです。

はじめは、 「もったいない」という想い

古川製作所の歴史がスタートしたのは、戦後間もない昭和21年。当社の創業者である古川喬雄は、第二次世界大戦後、広島県尾道市で煮豆やパンを販売する商いを手掛けていました。しかし食糧事情の改善に伴い増加する廃棄食品を前に、古川は「もったいない。何とかしたい!」と強く感じたのです。戦場で命と食の大切さを痛感していた彼にとって、食品を粗末にすることが幸せに繋がるとは決して考えられませんでした。そこで当時、社会に普及し始めていたビニールを用いた食品の包装に着想し、持ち前の機械づくりへの造詣を活かして自ら包装機械を開発。これが後に国内初の真空包装機「古川式真空包装機」の完成へと繋がることとなります。



品質

当社の製品はお客様のもとで稼働が続くことが大前提。製造現場では安定性と品質の向上に向けて検査員が厳格な基準に基づいた確認を実施しており、品質保証の国際標準であるISO9001も取得しています。

品質方針

そして、世界に広がる 「OLD RIVERS」に

古川式真空包装機は爆発的な普及を見せ、戦後日本の発展を食品流通という側面から支えました。現在でこそ食品流通技術も社会も成熟し、私たちが命と食の関わりについて考える機会は減りましたが、それでも「もったいない」という言葉は日本人の持つ美德として注目されています。ただ世界に目を向ければ、まだまだ命と食が強く結びついた人々は数多く存在しています。また食の安全や生産工程の効率化など、より高いレベルの「幸せ」を求める声も絶えません。私たちフルカワグループもまた、創業者の志のもと、より新しい技術を取り込み、さらに大きな幸せを追求していくため、世界中にくまなく普遍的価値を提供していく事業を発展させ続けていきます。

機能

食品包装機械には、お客様ごとに全く異なった機能が求められてきます。私たちは基本的な製品に細かな調整とカスタマイズを施し、あらゆる要望に完全にお応えできる性能をご提供することを基本としています。

安全

「食」という分野に直接関わるだけに、安全性の確保は最優先課題。当社では製造はもちろん稼働支援からアフターサービスまで、すべてグループ内で手掛ける徹底した一貫体制を構築し、安全を担保しています。

フルカワグループの歩み

- 昭和21年 古川喬雄個人で食品製造業を興す。
- 昭和25年 食品防湿の為に合成樹脂製防湿包装機の研究を始める。
- 昭和32年 合成樹脂フィルムの進化につれ、フィルムが真空、熱に耐えることから古川式真空包装機を開発。古川製作所創業(広島県尾道市吉和町)、国産初の真空包装機を開発。
- 昭和37年 株式会社古川製作所設立(資本金500万円)
- 昭和39年 三原工場新築(広島県三原市木原町)
- 昭和46年 海外市場調査を開始
- 昭和47年 世界一の高速運転・高性能ロータリー真空包装機を開発
- 昭和51年 資本金1億円に増資。尾道工場新築(広島県尾道市東尾道) アメリカWRグレース社への真空包装機輸出契約成立。
- 昭和56年 ロータリーガス真空包装機が81インターパックで世界の注目を集める。
- 昭和58年 資本金2億円に増資。第17回社団法人中小企業研究センター賞(現「グッドカンパニー大賞」)・地区表彰を受賞。
- 昭和60年 営業用ヘリコプターを導入し、メンテナンスサービスのスピード化を図る。
- 平成元年 本部広島工場を新築(広島県三原市沼田西町小原)
- 平成2年 資本金16億円に増資
- 平成4年 地域社会の技術高度化に貢献する財団法人古川技術振興財団を設立。本部広島工場第2期工場完成。工場棟一棟、野球場、テニスコート2面。
- 平成13年 創業者古川喬雄が会長に、古川雅章が社長に就任
- 平成15年 中国青島事務所開設
- 平成18年 ISO9001認証取得
- 平成21年 古川自動機械(青島)有限公司設立
- 平成25年 OLD RIVERS(THAILAND) CO., LTD. 設立
- 平成26年 創 HISTORY ROOM 創設 株式会社シンワ機械の全株式取得
- 平成28年 上海神和機械有限公司の全持分取得 古川自動機械(青島)有限公司を清算し、上海神和に集約 株式会社フルカワエンジニアリング設立 株式会社フルカワサービス北海道設立
- 平成29年 株式会社フルカワサービス設立

フルカワグループの源流を知る 「創 HISTORY ROOM」



本部・広島工場に併設されている「創 HISTORY ROOM」では、創業時の社会や世相を伝える多数の写真、また当時の製品実機など貴重な資料を多数収蔵展示しています。フルカワグループの歴史も分かりやすくまとめて紹介しており、当社をより深くご理解いただくには絶好の場だと思えます。本部・広島工場にお立ち寄りの機会があれば、ぜひお気軽に足をお運びください。



世界54ヵ国で稼働中

普遍の価値を生み出し続ける限り

世界は  のマーケット

言葉や文化は違って、人は食べることなくして生きてはいけません。

ゆえにフルカワグループが製品を通して提供する「価値」にも国境はありません。

私たちにとっては、世界のすべてがひとつの市場でもあるのです。

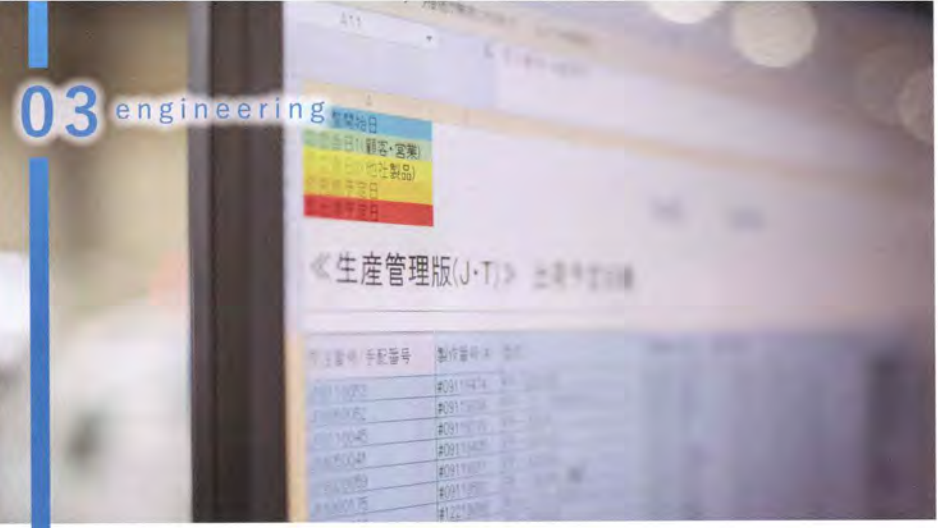


国境に関係なく求められる
「食の安全」の普遍的価値

すでに日本では、食品流通のシステムは円熟の域に達しつつあります。しかし世界的な視野で言えば「安定した食品供給と衛生管理」は未だ大きな社会の課題であると言えるでしょう。特にアジアの一部・中東・アフリカなど食品流通体制が完全に整っていない地域では、食品包装機械は非常に大きな存在価値を持ちます。またフルカワグループの「他にないものを創り出す」製品づくりへの姿勢は、多彩な食文化にも的確に対応できるものであり、包装機械マーケットが未開拓のエリアでも、ゼロから大きなシェアを獲得できる潜在的能力を有しています。こうした状況のもと、フルカワグループはこれまで、非常に早い段階から世界市場への展開を行ってきました。

積極的な海外事業への取り組み
「完成形」はまだまだ先に

昭和56年には、世界で事業を展開する大手包装資材メーカー、米国WRグレース社と業務提携契約を締結。現在も同社は北米・南米、オーストラリアと欧州で当社の販売代理店として市場拡大に取り組み、特にアメリカにおいては3500台という大規模な販売実績を上げています。またフルカワグループとしての自社による海外拠点の開設、新たな販売ルートの開拓も続き、中国・台湾・タイなど成長著しい地域では市場も急速に拡大しています。現在、私たちの製品は世界54ヵ国で稼働を続けており、全社的な売り上げの中でも実に35%が海外向け製品が占めるまでに至っています。しかし今後の潜在的な世界市場を考えれば、まだまだこの数字も発展途上に過ぎません。



ロータリー真空包装機

製袋機能を複合化した大型真空包装機。コンベア等設備との連携を前提とした設計で、ラインの中核として機能します。昭和47年の開発以来、フルカワグループを代表する製品として事業の成長を牽引し続けています。

- 多彩な用途に対応する機能
- ・運転速度はインバータ方式によりダイヤル調整
- ・横式ピロー包装機との連結
- ・連続運転のロータリータイプ

ひたすらに磨き上げた専門性

他にない物を創る。これが古川製作所
その独自性の高い
広島県の「ものづくり」～オンリーワン～



堅型袋詰真空包装機

ロータリー真空包装機の機構をタテ型に展開した包装機。対象の形状や温度など幅広い対応が可能で、充填機等との連携やオプション装置も多彩。用途や設置スペースに応じて、的確な作業の効率化を可能とする製品です。

- 多彩な用途に対応する機能
- ・自動計量機や自動投入機との連動
- ・包装品目に合わせたプリセット機能
- ・内部状態を確認できる透明真空ボックス

ONLY^{ワン}のエンジニアリング

の製品づくりのコンセプトです。
技術は評価も高く、
ナンバーワン企業～にも選定されています。

自動袋詰シール機

空袋への製品投入、ガスや液体の充填、日付の印刷など袋詰工程を自動化するシール機。パウチ包装や結束包装など様々なパッケージングに対応した製品があり、金属検出器などのオプションも選択できます。

- 多彩な用途に対応する機能
- ・空袋ロスを防ぐフィルムリサイクル機能
- ・袋交換時の手間を省くワンタッチ爪幅調整
- ・チャック付袋等、特殊形状袋への対応



「フルカワグループの強み」

案件ごとのカスタマイズで お客様の要望を最大限に実現

古川製作所の包装機械・関連機器には豊富なラインナップがあり、製品パンフレットにも150種類以上の製品が記載されています。しかしそれらが基本仕様のまま納品されることは、ほとんどありません。お客様が取り扱う商品の大きさ、重さ、水分量、形状など様々な条件によって、理想となる製品スペックは異なるからです。私たちは徹底したヒアリングのもと製品に多彩なカスタマイズを加え、ニーズごとに「オーダーメイド」の品質を提供します。

高度な専門技術の追求で 160件もの特許を取得

お客様の要望を実現していく上では、既存のオプションや改造だけでは追いつかず、機械の基本的な構造段階から新たな発想を取り込むことが必要となる場合もあります。この創造的技術開発を継続し続けてきた結果、フルカワグループでは「160件」もの特許を取得するに至っています。これは同程度の規模を持つメーカーと比べても飛び抜けて高い数字であり、食品包装機械という専門領域においての唯一無二の専門性の証でもあります。

スペシャリスト集団として 全社員が総合力を磨く教育体制

フルカワグループでは、すべての社員がお客様からの要望に即時に対応できるよう、製品に関して豊富な知識を持つスペシャリストであるべきと考えています。そのためグループ内でも組織と職種の壁を越えた部門間協力と情報の共有、また技術教育を推進し、メンバー全てが総合的な能力と対応力の向上を念頭に置いた人材育成を実践しています。お客様からのお問い合わせには、どのタイミングでもどの社員でも、的確にお答えいたします。

独自技術と、新たな技術。その融合が、価値を生み出します。

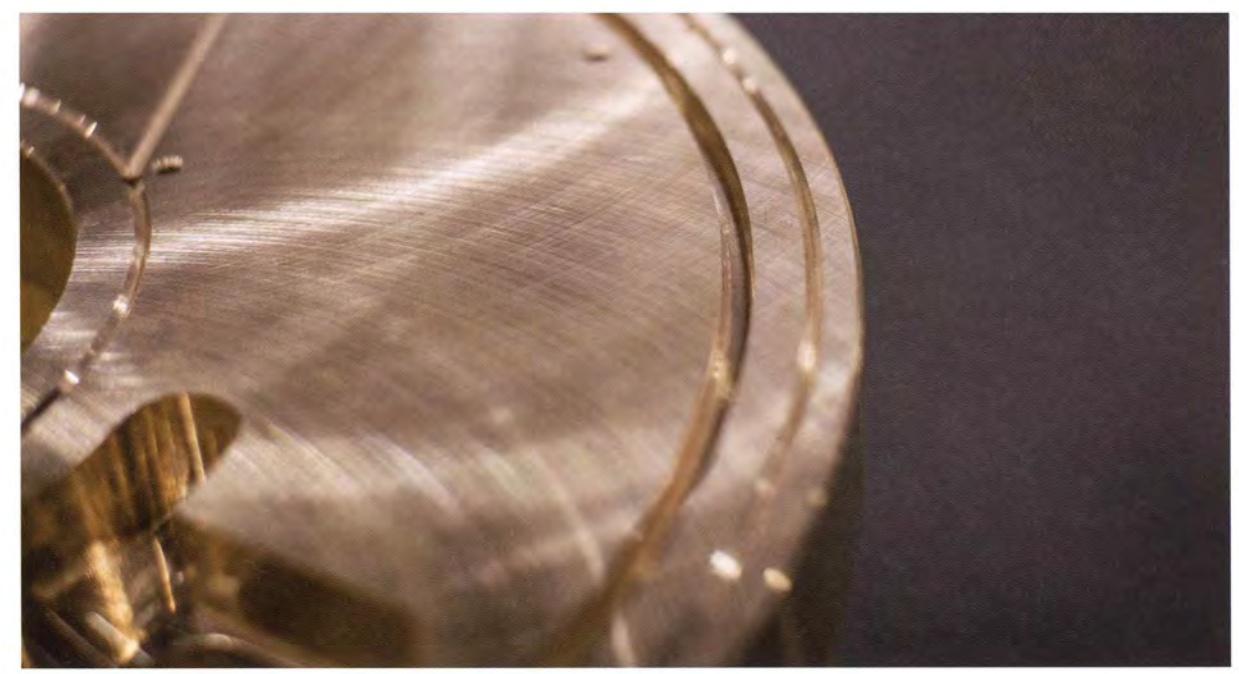
お客様の事業と密接に結びつく古川製作所の製品は、常に機能向上に向けて進化し続けています。設計部門をはじめとする技術チームでは、ニーズに基づいた数値性能の追求など具体的な開発テーマに向き合うことはもちろん、二次元から三次元への設計システムの更新、また既存の製品群とは異なる新規製品の検討など、要素技術の蓄積にも積極的に取り組んでいます。過去に培ってきた独自技術に、新たな付加価値を加えるための先進エンジニアリング。古川製作所のモノづくりは、その両輪で前進し続けます。





ひとつの不具合も見逃さない 世界が認める品質を提供するサービス

フルカワグループの事業とは「機械を売ること」ではなく
「お客様に安定した生産環境を提供すること」だと、私たちは考えます。
製品の導入前からその役割を終えるまで、
全社を挙げたサポートで、永く安心を支えます。



コンサルティングから アフターフォローまで ワンストップの業務フロー

お客様の求める生産環境を提供する。これが私たちのサービスの定義です。製品はあくまで、目的を現実化するための手段のひとつ。その導入をゴールとするのではなく、前段階となるテーマのヒアリングから安定稼働を責任持って支えるフォローまで、すべてのプロセスがフルカワグループのサービスです。

営業

ご相談を頂いたお客様のもとに出向き、生産工程上の課題や改善点などについて営業がヒアリングを行います。



設計

営業が作成した製品仕様書をもとに、要求性能を満たすための追加パーツや部品などを設計部門で作成していきます。



検査

設計図面に基づいて製作された部品が必要精度を満たしているかを確認。この工程が最終的な製品の品質を左右します。



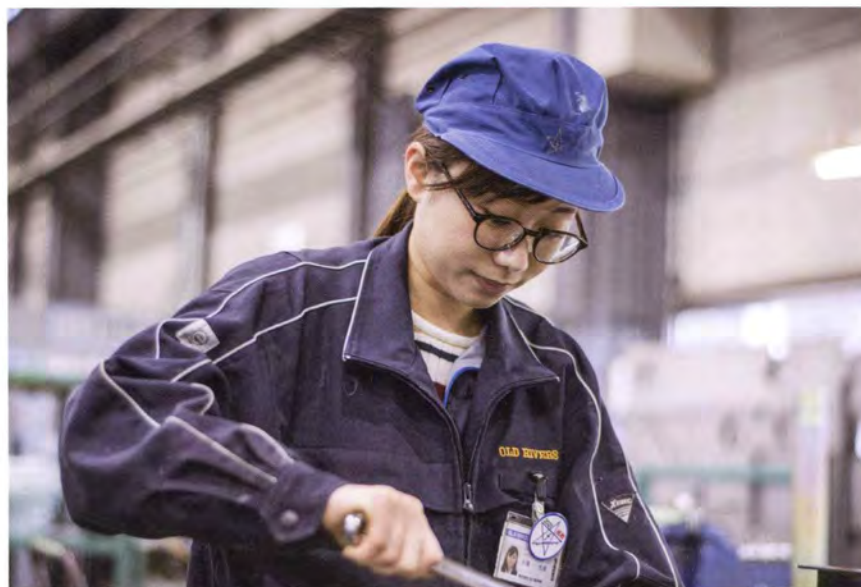
製造

工場で製品へと組み上げていくプロセス。自動化できない工程も多く、工場はさながら「工房」のような雰囲気です。



納品

工場から製品をトラックに積み込み、ダイレクトにお客様のもとへ輸送。現地での据付まで専任スタッフが対応します。



すべての責任を負い、すべての安心を支える ご提案からアフターサービスまでの一貫体制

フルカワグループでは製品とサービスの品質向上を目的に、お客様の接点となる営業から細かな機能を実現する設計・製造、そして稼働のサポートや導入後のトラブル等に対応するアフターメンテナンスまで、すべてを責任を持って自社グループ内で手掛ける「徹底した一貫体制」を敷いています。またこの姿勢は、私たちが全うすべき企業の社会的責任に対する回答でもあります。

例えば、細かな製品の仕様を知りたい。導入後にトラブルが発生した。こうしたお客様の声に対しても、グループ内・事業部門間の連携で即時に対応。フルカワグループはいつでも迅速に、お客様に最適解をご提供します。こうした「お客様との関係構築を何より重視する」業務スタイルは、現場で最高のパフォーマンスを発揮する製品を生み出すバックボーンともなっています。



多角的協力で実現する事業の完成

ひとつの想いで結ばれたフルカワグループ

拡大する市場と要請に、的確にお応えし続けていくこと。

またメーカーとして、本分であるモノづくりを追求し続けていくこと。

多角的に広がる命題に対して、私たちはグループ化による「総合力の向上」で対応しています。

異なる役割を持つグループ会社を 結集した「総合力の強化」へ

製品づくり、販売、サポート…。私たちの手掛ける事業は様々な要素で構成されていますが、その全てに経営資源を等しく投入することは困難です。そこで古川製作所では、業務ごとに役割の異なるグループ会社を設立し、それぞれの協力による「総合力の向上」で事業の強化を目指していく戦略を採っています。各社とも異なる立ち位置にある企業ですが、根底に流れるのは同じ「人を幸せにすれば、自らもおのずと幸福になれる」の言葉です。

よりきめ細かいネットワークで 国内外で展開の機会を創出

当初は業務領域ごとの事業への注力を目的としたグループ化戦略でしたが、事業が順調に推移するとともに「サービス」の重要性が大きくなりつつある近年、グループ企業の存在はエリア展開という意味でも有効に機能してきています。国内全域でのサービス体制強化はもちろん、海外の重点展開地域での市場拡大においても、各社の役割はより重要に。あらゆるお客様とユーザーを網羅するネットワークを「フルカワグループ」は築きあげます。



技術でフルカワグループを支える 部品製作のエキスパート企業

株式会社エクス

古川製作所の製品の要となる部品には、時には1/1000mm単位の精度が求められます。しかし機密保全の観点から、外部に加工を委託することもできません。そこで重要となってくるのが、部品加工を専門とするグループ企業、株式会社エクスの存在です。最大22mmの鉄板まで加工可能なレーザー切断機にプレス機。熱膨張を防ぐために常に20°Cに保たれた環境で稼働し、10μmの精度で部品を研磨するラッピングマシン。1/100mm単位の超微細加工を行うマシニングセンタは、新たに5軸加工も可能な最新鋭機も投入。また進行する業務工程を一元管理し、工場内各所の大型モニターで情報共有する新生産システム。技術会社として特化したこれら多彩な設備、また豊富な経験を持つ人材は、まさにフルカワグループの屋台骨。近年では部品のアセンブリ化や組立加工などの領域にも業務を拡大しています。



ハイクオリティな 包装提案を目指します。

株式会社ハイパック

株式会社ハイパックでは、フィルムの上に並べた品物に加熱軟化したフィルムをかぶせて密着包装を行う機械等を販売しています。フィルムがソフトに密着するため、軟らかい品物でもあまり形を崩さずそのままの状態に包装ができます。



シルバー世代の人材活用と 技術の伝承を担う組織

株式会社キャップ

株式会社キャップに勤務するのは、古川製作所を定年退職した60歳以上の人材。豊富な経験と高いスキルを持つ社員は製品の組立てや部品加工など技術業務だけでなく、若手社員が技術を習得する「トレーニングセンター」の講師も務め、新たな世代への自らの技術の継承を担っています。



サービスの強化を通して ブランドの展開を支える

株式会社フルカワサービス

株式会社フルカワサービスの役割は、古川製作所がお客様の元に納品した製品の整備・メンテナンスなど現場でのサービス業務と、顧客ニーズなど情報の共有を軸とした営業サポート業務。迅速で細やかなサービス提供を目指し、今後も拠点を増やしフルカワグループの全国ネットワークを支えます。



発展著しい東南アジアから 古川の理念を発信する

OLD RIVERS (THAILAND) CO., LTD

2013年、タイ・バンコクに設立された同社では東南アジアエリアを中心に、古川製作所製品の販売とメンテナンスを展開しています。東南アジアでは衛生的な食品流通環境が十分に整備されていない地域もあり、当社製品を通じて「食の安全」を支え現地の発展の力になりたいと考えています。



膨大な中国マーケットでの 市場拡大を担う戦略拠点

上海神和機械有限公司

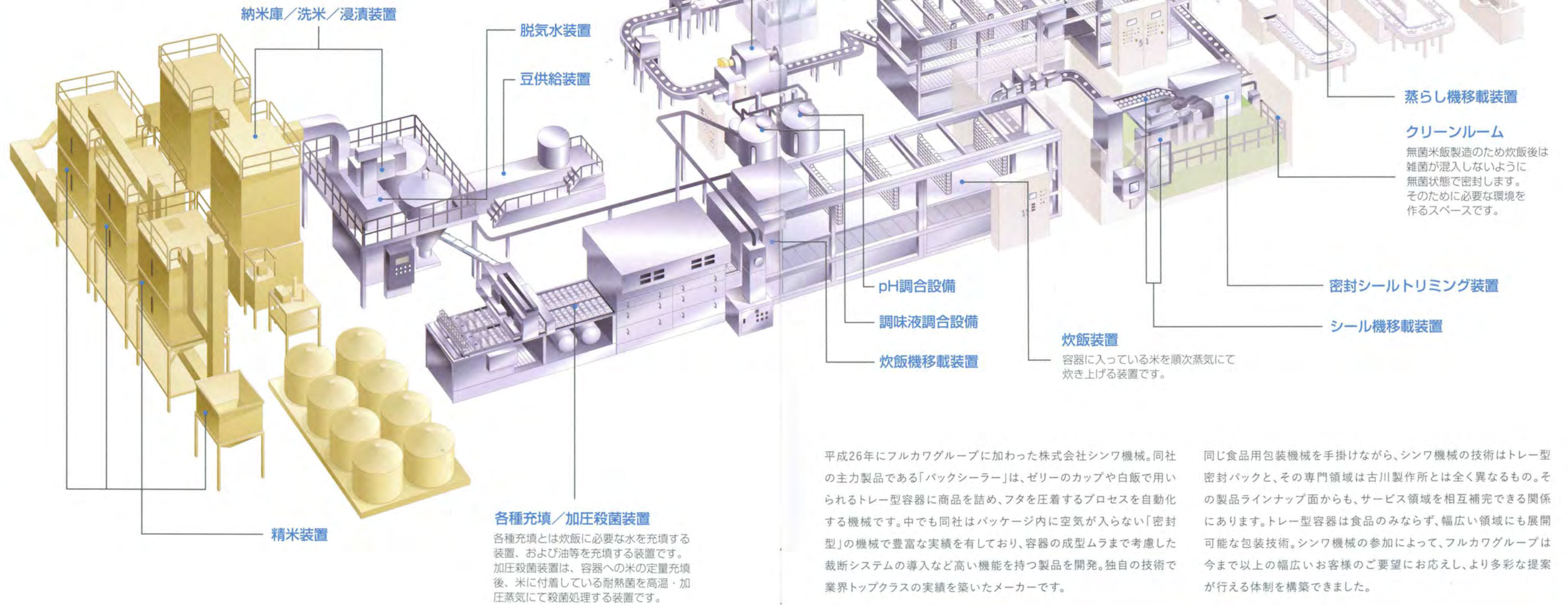
中国・上海の現地法人日本人スタッフと現地中国のスタッフが協力、顧客のニーズに合わせた製品の販売から納入した機械のメンテナンスサービスまでを一括して手掛け、大規模な中国マーケットにおいて市場展開を担う拠点としてシェア拡大を目指しています。



株式会社シンワ機械

トレー型容器で業界トップクラスの実績
 独自技術で事業領域拡大を牽引

| シンワ式個食トレー炊飯システム |



平成26年にフルカワグループに加わった株式会社シンワ機械。同社の主力製品である「バックシーラー」は、ゼリーのカップや白飯で用いられるトレー型容器に商品を詰め、フタを圧着するプロセスを自動化する機械です。中でも同社はパッケージ内に空気が入らない「密封型」の機械で豊富な実績を有しており、容器の成型ムラまで考慮した裁断システムの導入など高い機能を持つ製品を開発。独自の技術で業界トップクラスの実績を築いたメーカーです。

同じ食品用包装機械を手掛けながら、シンワ機械の技術はトレー型密封パックと、その専門領域は古川製作所とは全く異なるもの。その製品ラインナップ面からも、サービス領域を相互補完できる関係にあります。トレー型容器は食品のみならず、幅広い領域にも展開可能な包装技術。シンワ機械の参加によって、フルカワグループは今まで以上の幅広いお客様のご要望にお応えし、より多彩な提案が行える体制を構築できました。



世界に の存在価値を目指して フルカワグループのこれから

関わる人すべてと社会のために、私たちはどうあるべきか。
それを考え実践していくことのみが、フルカワグループの存在価値を高めます。
グループを構成するすべての社員とともに、私たちはさらなる歩みを進めていきます。



より大きな幸せを実現するために
私たちは今後も新たなモノづくりに
挑戦し続けていきます。

創業者、古川喬雄が「ひとつの想い」から会社を立ち上げて以来、すでに70有余年。この間古川製作所は一途にモノづくりに取り組み続け、今やその製品とサービスは世界中に拡大しています。こうした順調な展開は私たち自身が利己的な判断にとらわれることなく、本業である包装機械づくりに集中して「人を幸せにする」ことを目指し続けた成果です。世界中の人々はさらに高いレベルの幸せを求めています。私たちもその声にお応えしていくため、創業者の志を胸に「新たな技術を取り込み」「これまでにない価値を形にし」続け、より大きな幸せを提供し続けていきたいと考えます。

また社会的な価値観も変化し続けており、働き方改革という言葉に示されるように、労働環境の向上も新たな企業の責任となっています。当社では新生産システムの導入など自動化を進め、本来「人がすべき仕事」に集中して取り組める「人財重視」の会社づくりにより力を注いでいきます。お客様の幸せ。働く人の幸せ。その先にフルカワグループ自身の幸せもまた「おのずと実現する」のですから。

代表取締役 古川雅章



トレーニングセンターで 高い能力を持つ人財を育成

お客様のサポートを行うオペレータやエンジニアを対象に、実務的な技術教育を行う「トレーニングセンター」を社内に設置。長く経験を蓄積してきたベテラン社員が講師を務め、若手スタッフへの技術継承を行っています。



社会のための人財づくり 古川技術振興財団

平成4年に設立した「公益財団法人古川技術振興財団」では、技術開発研究者への研究費助成や外国人研修生への支援を実施。高い能力を持つ人財づくりを通して、高度な技術開発の振興や地域経済の発展に貢献しています。



地域に生きる企業として 地域活動にも積極的に参加

地元を代表する祭り「三原やっさ祭り」への参加は毎年の恒例行事。また年に一度の「サマーフェスティバル」では、従業員の家族やOBを招いて様々なイベントを開催。地域交流や社会活動もまた、私たちの大切な取り組みのひとつです。



古川技術振興財団 平成30年度 研究助



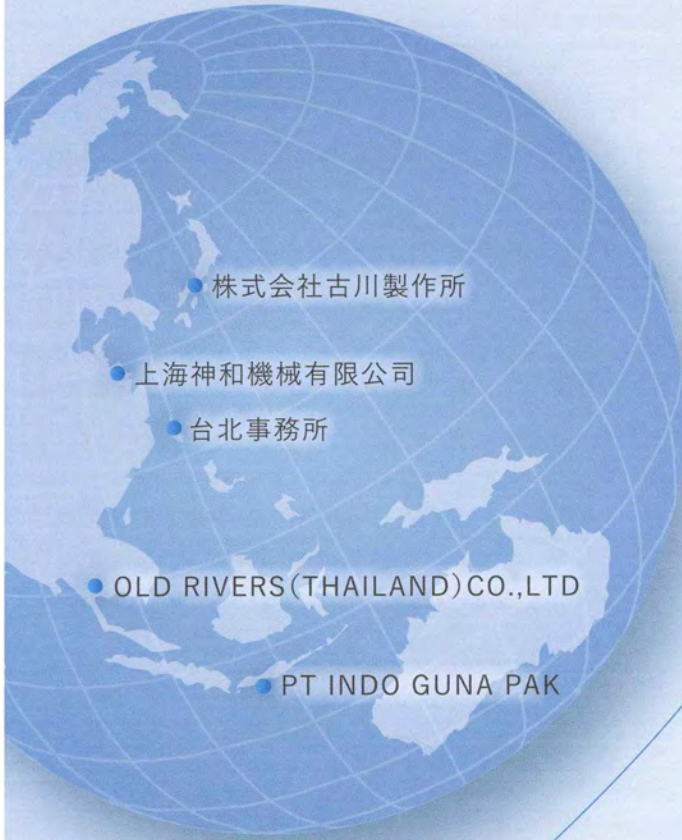
ワークライフバランスの追求で 働きやすい職場環境を実現

仕事と生活、双方が充実していなければ、豊かな人生とは言えません。私たちは休日休暇など福利厚生充実、また明るく笑いあえるような社内のムードづくりを通して、すべてにバランスのとれた人生の充実を支援します。



グローバルネットワーク

フルカワグループは世界をつなぎ、強固な事業基盤と充実したサービス網を構築しています



<https://www.furukawa-mfg.co.jp>

OLD RIVERS®